

The Festival of India

インド祭

インド文化交流評議会 (ICCR) 派遣 Sent by ICCR



インド現代舞踊の先駆者

アスタッド・デブ舞踊公演

Astad Deboo Contemporary Dance-Pioneer of modern dance in India

インド現代舞踊の先駆者として世界的に有名なアスタッド・デブは、はじめは古典舞踊カタックを習った。しかし、古典舞踊の枠にはまらない新しい舞踊スタイルの創造の意欲は、その後、南アメリカ、日本、インドネシア、ヨーロッパ、中国、アメリカ等世界各国での伝統舞踊に向かわせる。その後インドに戻り、コントロールされた肉体的表現を用いた独自の舞踊スタイルを築き上げ、インド古典舞踊、音楽とのコラボレーションにより、その世界をひるめる。アスタッド・デブは、インド政府より、その創造的な現代舞踊に対して、最高の芸術賞サンギート・ナタック・アカデミー賞を授与される。



Astad Deboo's journey as a dancer began with lessons as a child in the Indian Classical dance form Kathak in Eastern India. The young Astad struggled to come to terms with the iron frame of classical tradition, his search took him to the dance traditions of South America, Japan Indonesia, Europe, China and USA. After many years abroad Astad returned to India and bringing to his dance a combination of extreme physical control and stunning visual impact, the eclectic universe gradually coalesced into a style uniquely his own. Astad Deboo was awarded the Sangeet Natak Academy award the highest honour bestowed on creative performers by the Government of India.



※会場には駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。

赤坂区民センター (Akasaka Kumin Center)

〒107-0052 東京都港区赤坂4-18-13 赤坂コミュニティプラザ内 電話(03)5413-2711

●交通機関 地下鉄 銀座線・半蔵門線・大江戸線・青山一丁目駅 4番出口 徒歩10分 銀座線・丸の内線：赤坂見附駅 A(弁慶口)出口 徒歩10分

〒107-0052 Akasaka Community Plaza Bldg., 4-18-13 Akasaka Minato-ku Tokyo

●Access Tokyo Metro: 10-minute walk from Akasaka-mitsuke Station (G05 of Ginza Line or M13 of Marunouchi Line)
: 10-minute walk from Aoyama-itcho Station (E24 of Oedo Line, Z03 of Hanzomon Line, or G04 of Ginza Line)
Please use public transport as the venue has no car park.

2007年10月23日(火)

開場：午後7時 開演：午後7時30分

参加費：2,000円(子ども無料・全席自由) 定員：350名

Tuesday, 23 October at 19:30 (Open at 19:00)

Admission : 2,000 yen / Admission Free for Kids

チケット予約 TEL : 025-752-2537、090-6943-1406

※チケット予約：お電話にて予約、当日会場受付にてチケットのお渡し、ご精算となります。

主催：インド大使館、インド文化交流評議会(ICCR) Organized by Embassy of India, Tokyo & ICCR

共催：NPO法人日印交流を盛り上げる会 Cohosted by Society to Promote Indo-Japan Cultural Relations

後援：インド政府観光局、エア・インディア、インド貿易振興局、(財)日印協会

私たちが「インド祭」を応援しています 関東インド人会、江戸川インド人会、東京ベンガル協会、インドセンター、バンクオブインディア

ステートバンクオブインディア、ニューインディア保険会社、(有)アパメックス、シャンティ紅茶、新宿中村屋

《インドレストラン》：アショカ、ゴングル、モティ、マハラジャ、マハッタ、ムンバイ、シディーック、シタール、リトルインディア、コストリ

IEO国際交流団体、NPO日本語で行う日本-インド間事業を支援する会、レインボー国際協会、出帆新社、ブルーロータス、(社)横浜インド商協会

横浜ムンバイ友好委員会、横浜インドセンター 2008年度設立協議会、横浜インド文化交流委員会(順不同)

問合せ：NPO法人日印交流を盛り上げる会 Inquiries&Applications: Society to Promote Indo-Japan Cultural Relations

TEL : 025-752-2537 FAX : 025-752-6076 E-mail to : info@mithila-museum.com http://www.versajp.com/jp-india50/

「日印交流年」は2007年1月から12月まで日印両国で日本におけるインド年、インドにおける日本年として開催されます。